鴛鴦譜

俳句

完

中村俊定文庫
文庫 18
429

鴛鴦譜

宮城県図書館

八津くし

八津くしといつるは大往ほとくことかみ形月は仏萬の神くたゆ
ゆくしひまいあまくきき夫婦乃縁むすひまみといひも俳
諧ならんも姻縁天うん定人力は謀り求るこからすす
やうるものよりうさ仏を不偶祝儒の先水こ宮中おもちち
傳くはくしふ多ふ所の中ふ所ふてへ孫をつくん宣水人
祝ひ成侍ん也ふ也ふ也ふ乃ふ箱紫の探題と今
川の何かし撥くしくしくしく

をもつて兄法舎の妹を因幡国に住せしめ
て直ち彩舎に云葉を醫る段人事をいつくし法舎に
幼より書をよみ性青雲の志ありて青雲神かたぶき
はやうより書をもつて冊とし
とし冊孫をもつて人の女特特めとりしなる娶りひらやく
脾
はやうより行くしもつて蘇里七日光雲と云
儒者鬼子田五郎以綱すに孫をもつて終に永く東
野州の四人の武衛泰の風孫の孫をもつて亦
二子あり女子十六の妹嫁一冊を嫁せり乃年一人は女子
生嘆して彼をもつて男子をもつて小五郎と
いつの二人は壁氏綿也を娶り孫をもつて孫をもつて世を早くも女子をもつて
節婦をもつて下女秋金と云なる共に
をもつて以家の高形一財の人冊寡女をもつて兄ほめとなむ年い
くつもとも歳をもつて冊をもつて

特殊女い弟壁氏を詐りて
青地を沖善に豊後守と云ふ冊
いわく乃孫をもつて都方は詩掌中の人の
小をもつて品をもつて孫に
うのもしれもいくつも賢の外ものすつ業に髪乃ト婦めてつく
の法をもつて行者婦和従なりつくて何時にも吉を擇
嫁を期とせんと雇す男嫁女嫁すい大風はかり
とつて天あつて道の乗方い孫乃ひめ孫のひとつくと云
孫の本にうんやつあつた布の衣裳乃ち出ひとつて言を
伸ん草乃れ口つ法并せて冊乃をもつて
賜乃日を近ちはたにやこ狗影をもつて物注誠の
想いん金二つ和ち乃して汗を奏せしの虚弱ありて
つや変つて寒氣と形を正気ありて茶を吐して石上井方
にもつて一気の用ふく十二神を求めトに四人を救て

ふしとなれば志彦夫婦魂をうしなひ病床にうめきうなり声を
発して對しあく泣き書て量て道世子乃沢病床に
臥なりかなめ冊子を繙く終て待再吉乃期せんと婦曰
はまくもかしこき強てもかるる節なれ難へまりすや病るまれ函
なるも喜を告ることうしん物をと主れ道狂ふ〻寄るに吉歩
函多しかくてちに時と百千れ喜ふりうるる節い他の女な
晩婦と云せんやまつれひるこ婦曰こ他をそて自をこず涙り
形き仏をこ一毎一房乃要を定こうにノ乃ま命うれく親を
ふるに臨てはうす病を患の無きるん子何ったしこむ
ゆしい高く水低うを取うん方ゆ一聘をのどうんも
忠厚をちに乃をしうむちうくも躰を両形うしを失のまを彦れ曰に臨
しにまうる多い云うに せん制妻言うみはるみ任せるう何待
ゆ云く孫るやのるれまくいず先うありまりめ養要
乃ごうて病好いふりる吉とうこ待親せんゆ一不起永逝

を望うこ煩を轉せんさうこ吾ゆうれ寶も費へしようせ
こうも殘く却く嘗お舎乃等那んしを彦ゆうれく彼世こ
云女房まうをなるゆ東西おいこいるま阿傅君にひつくあ世ゆ一
陰こうゆ一に冊永を当毎一ひひゆ何こうをん子永こ鄰
て眠こうふるかれこ信めり日曲杖ちこ伊宮藏こ要を收る
義ぼうしうれ文昔大ま乃監ゲすし人れ逆の後れ後
れ商これ今後とつれ監こ通ゆ言も切しうるかるの極
なう宮永こ東入なくこくの細ま体脱出一人にこふ
れ年をこのここれ内こ体れねうれ宜とをつこゆ共是
邪ま一の砂と及う射いり利を得不義れ躰とうり逆友れま妻
ゆ一に文我子縁こうれ世部や眞彦こう永命に一こう雅く
賞んとすれど眞彦こう子のハれか逆こ面和これと子すま
家こ年わんこれつくひこうこひ願へこうこ皆災を幸
福を楽む舎二病乃産急なる体曉こ祈ようこう悦しく

言と久くて毋寡こゝの手ちよりて毋寡女婿ちよれ病りときて居く
何てちくはしきものにくやと尋ね世何てなきいくんとすれ舎
二変あるんに後毋寡あるわるくれんを毋てあるこゝ云こ
イ又手あるんうゝみ二難言んとて先ず毋寡阿てきゝうゝ
とも何ゝ故を紐なゝ一王阿ゝ伎ゝ言葉一勝
昇きれにあるんるれゝあるれゝ重きゝ物るゝか誉せんゝ親のにい
必時んいゝゝゝゝ病十ぶにゝ病すゝきゝゝに君ゝゝ言ゝあゝや
いゝゝ安一昇ゝゝかゝしぶゝみるれゝ辛ゝて娘を育一上月
ゝ十むゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ毋ゝ乃人ゝゝ母一鰐
多くゝゝ世ゝゝ多ゝくゝゝゝゝゝ金ゝ絵ゝんゝゝゝゝゝゝゝ
うゝくゝみゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

に死賀し五月雨聘を細しそはやすぐ同しまれ悔くは
なんうれあるくもふし自分行り蛭乃田ふくさね
呼くこ云付て見こ考く新房取はるひやれるに亭をこ
ハせ又はしめ者こはうり物を調せこ場清柔をすめ且田
ひくこ考くく物くこ考くこ考やうに考て答す家母飯をこ向小飯
まるまるの親母何のきめくこ使すに仙金こ考署をれ公さり
るのれれのこ那く特に世こ考こ考こ考ほどこもれ考こ見
奉見なと仰考くはるはのこ行こと神小道又神悩初く除りこの
世急こ山親きめくこ考ちこ考ちこの仙特別こ日ち猿し
かくん家母母道親母れ君家くはるはくるくこのこの情柔し
小見公くれくれ母れ六借乃恐ふくれ外日に考こくれ考こ考美
こすれ高くれ考れこ考こ考こ考こ

驚きしが乃至[illegible]我ら怪訝怪奇の体にて秀ら容色
ふしぎと花もさきうれて這度病かるくまたれ貌るは
てんと酒もうして此は家母何て云ふ[illegible]母は同じく神仏二人
冊寡ら去冊寡女に共わらまして語冊寡の軽しくにわるかるう
思ひ[illegible]せんとするに又[illegible]わるくい皆こ[illegible]わるを音兒[illegible]害
あり[illegible]又わるう[illegible]事那よ[illegible]ふるこ吉期をはるんや拙誕ちるめ
るは阿行きに[illegible]人定[illegible]ばくき四方かいりそんあて阿
て[illegible]ゆるく計那[illegible]極めるく此早[illegible]て去寡女北色和と氣
ば今さて相るるるかわ[illegible]ゆるみるとれたるんこれは春
始るたいせるは後は本病[illegible]るく[illegible]列月多撰[illegible]婚れるう結ん
ふる回るせんこ家永奈何ぎんや中りるる不日変わるいは相もむこと
[illegible]小紀微策わるるる[illegible]寡女言ふるんの[illegible]小立
言[illegible]るも[illegible]るるりるるれ日送るんに衣雲るる猪[illegible]よ[illegible]
[illegible]るは世やるる[illegible]るんるこ三のれりを経て[illegible]師[illegible]を[illegible]帰り

待て詰夏を連るる送るんるる変有とるるこのよ
乃下につぎめると表は全するるるる冊寡めるるくけるるるど
けるる紀見識やるるてるるるこるを[illegible]るる帰るるる折れるるるるるるせんさ
あ何るるくるる西るる西るる止す冊寡めるるるるるるて定むれて何[illegible]
ぎるんは[illegible]るるるるるるる

[illegible]いうに世間[illegible]ハ[illegible]と安し細[illegible]を副[illegible]
[illegible]ハ[illegible]合[illegible]よく世[illegible]影の短[illegible]乃[illegible]きく[illegible]つけく化粧
し[illegible]宗せん[illegible]かく[illegible]仕[illegible]世[illegible]を[illegible]ゆ[illegible]乃朝[illegible]侍[illegible]
同[illegible]ごきく[illegible]に[illegible]ちうく[illegible]本同し仰[illegible]
吉[illegible]悪[illegible]と[illegible]ふ[illegible]ん世言[illegible]ふ[illegible]世[illegible]一つく[illegible]
ぶ[illegible]せん乃[illegible]音[illegible]世[illegible]ゆ[illegible]極るかく北五[illegible]ほ[illegible]
かく[illegible]ち精[illegible]女と露[illegible]形[illegible]ち[illegible]人[illegible]と[illegible]假[illegible]
す[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]乃[illegible]ま[illegible]ひを[illegible]り[illegible]十[illegible]と[illegible]の[illegible]ち精
[illegible]めい一向の深きに藏し[illegible]迎[illegible]乃人を候[illegible]嫁人[illegible]入[illegible]て新人
乃物[illegible]は是天人乃[illegible]け高[illegible]世[illegible]け[illegible]事[illegible]
[illegible]に[illegible]ち[illegible]色香[illegible]れ[illegible]ば[illegible]夫[illegible]君[illegible]ゆ[illegible]さ[illegible]尋[illegible]
撫寡の[illegible]曰[illegible]の[illegible]し[illegible]ふ[illegible]ゆ[illegible]す[illegible]
せん[illegible]ふ[illegible]は[illegible]度に郎[illegible]す[illegible]乃何傳[illegible]内[illegible]
さ[illegible]ぶ[illegible]扨[illegible]ゆ[illegible]ぶ[illegible]け者[illegible]て[illegible]迎親乃人を答す新人

うねる人は拳[illegible]紋金小五[illegible]世に毋[illegible]と[illegible]申し[illegible]出[illegible]一
れ[illegible]答[illegible]く[illegible]叶[illegible]物[illegible]世[illegible]ま[illegible]河[illegible]き[illegible]世[illegible]
三[illegible]め[illegible]は[illegible]送[illegible]回[illegible]ん[illegible]を[illegible]信[illegible]矢[illegible]と[illegible]河[illegible]も[illegible]
う[illegible]づ[illegible]て[illegible]洛[illegible]れ[illegible]町[illegible]小[illegible]水[illegible]帝[illegible]し[illegible]金[illegible]秋[illegible]は
[illegible]く[illegible]ま[illegible]小[illegible]轎[illegible]は[illegible]く[illegible]聚[illegible]科[illegible]生[illegible]郷[illegible]人[illegible]い[illegible]那[illegible]独[illegible]要[illegible]を
し[illegible]て[illegible]亭[illegible]を[illegible]見[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ま[illegible]ひ[illegible]ま[illegible]ひ[illegible]に[illegible]ゆ[illegible]と[illegible]云[illegible]敗
荆[illegible]婦[illegible]ん[illegible]道[illegible]ま[illegible]り[illegible]け[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ひ[illegible]ま[illegible]ひ[illegible]ま[illegible]ひ[illegible]ま[illegible]ひ[illegible]け[illegible]く[illegible]新[illegible]人
[illegible]れ[illegible]ま[illegible]和[illegible]ら[illegible]出[illegible]一[illegible]迎[illegible]乃[illegible]何[illegible]ま[illegible]ま[illegible]金[illegible]ま[illegible]あ[illegible]こ[illegible]く[illegible]副[illegible]田[illegible]表[illegible]ま[illegible]相[illegible]む
く[illegible]坐[illegible]鋪[illegible]す[illegible]ま[illegible]屋[illegible]世[illegible]に[illegible]世[illegible]に[illegible]小[illegible]ま[illegible]ま[illegible]に[illegible]金[illegible]秋[illegible]す[illegible]ま[illegible]世[illegible]ま[illegible]
[illegible]ま[illegible]を[illegible]入[illegible]く[illegible]舎[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]喜[illegible]ま[illegible]を[illegible]つ[illegible]ぞ[illegible]新[illegible]人[illegible]を[illegible]家[illegible]に[illegible]い[illegible]ま[illegible]ひ[illegible]卧[illegible]ま[illegible]
至[illegible]ま[illegible]謂[illegible]く[illegible]曰[illegible]嫁[illegible]神[illegible]を[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま

家をこぼして病身をなげき嫁婦をうらみて新房を
つくりちむつくらうきく義羅なる画く作にたとへば一家縁門の人
人うつくしみ聚やと見ほかさめうるに赤母なるもむかくの時の
義人家まうに配世者一生乃苦をにうきかくに親を臨く病
ほつしをを十世死一の生かるるよりめれ上苟を代乃もれを月世家
喜の事とおもひ歌く歌く小五て共新宮の補ふてくばうう
に親戚のうりく並ゆるる中にたてひうり始終。入浴おはるを
ひれをくの風の山乃ふうをれよりあるあるを陰ふんを世
嫁乃出色をうるバ吾つまかるやうんもれをををううう
かるるさ風歌ーー誰のまうるるるむさひるこの仲中赤何信をう
世新人の為をはるるひにれひるるーれ上代そうるの彼
嫁にとちひるるる実じうう糸世ようん天福ありくを雪あの
世料人と独りのさ世海すぐ侍中ーまもれよりあるあるるつく
ーまにれるるんるいんるるる

似もうりよりはるかに高くうるをに心を相愛して住めり隣に
ら山さいとのくふかのあるいとくるしとくること卿
せくるかのすはかとんやうあもとくことよりて髪と
神して其物を運せくるに成こ置て母及下女共に去り田ひこ
かとくに北向にんざり寄て打ちうる容よにもれざん物を
とれ嫌くるかるかとまるかとしめしまりぶ孫しかりんゆ
卿くに気者と云小五ん代さしもちくぶと言ひ田ひこと
道嫌くくしより後何とと仰せ家くむみはくるかるに
ひにはなりうにはに（考くるはん北五ちりくて
れくをくこと割く喜ひ思ひよせはりるんのにるまこと
んけくに姑姑れうつくしみまの乃情かうを折く隆ま
くれやのに結ん年ちくて嫌くに依てられ花紀むすぶさちと
告数ちれ喜ひと知られかも亦弟ていん君しる弟をとる事体
歩よりも豊くく君の恨乃信あんん田昂の曰及この言みはこと

なるやとくかくみくきこのにんひかくはやはは深し
れしまん伝憶姑姑先ふとくるの蛭のくくく嫌くは是ゆくを自ハ
これ主人のにりりくくゆくの世小五道世房い還くく君しま
くくくくくの田ひくくく命和一寿さ多先をちあてんやと
陽ゆて京と解て始るれ紙金ちくり乃くれ言をまく
く豊ふかかれ五君好喜とれいれ低くて言君れ戴れ世戴
るいんれと形くるれ倍大姫きりるくゆくくれ大事ありす
やとくく眉とれうれ世北五ちうふばまて世事ありくふ市にと
くり猴くれ寺れれ拾れ拾かくくに郎すれ五田と同人君
今幾くくくれ青春聖田いれ十とれくくれ外さもれの世を加
又向いつくくこの嫌くれのくくくれ恥くくくくく

べくもあらず、いひもてゆくに、ようよとく回年をすと小五郎ふたたび返りて、世々君の気なやみ給ふ事を聞てすりしものを、よみ給ひ、悩しとせい君の、雪乃丸賢くいひたまへ、武に悩給ふ事、小五郎曰君おもく、身さ何の形やみ有事を田ご道、今育ちあつせまし、立て一个ねまふしいう無きまんねちゝ世小五道、今君いかゝ、ゝもに在これ个一双兒ほの水甚のまん、多ん田馬、ゆもかりこひちゝ君いかゝ女ゝつまに非、小五郎道、勝女君に光くゝり支い置ゝ多田馬、ゆみゆゝ、ようひせ形ゝ習ゝ坐ゝくゝる色せふと、ゝか、いゝ是多つゝなる、ゝ唯不多至御ゝ君さ、ゝ、ゝ、ゝ

家ゝうし堅くいのりて親とふく妹と世話内外のかぞ
乃かまり成請し婚姻をなれしるをもうけ舞はや
べきはれ京ゝ流ゝ流てゝ到るをかく成て
延をひらく祝やかなるに五ゝ五ゝ世和筑
陸奥ゝるまを誓ひはゝ乃深を盟ん愛祐加へ恩を培ゝや
ゝのすくさゝ三ツめもゝ行ゝ三ゝ郡ゝ長伊金ゝ伊一且
小五ゝ郡ゝ朝ゝ三ゝ乃ゝ赤毋ゝ赤毋ゝ赤毋ゝ
高ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ中ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
一ゝ乃ゝ乃ゝ自ゝ乃ゝ赤毋ゝ阿ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
堅ゝすゝ伊ゝ金ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃

親の和さまとうに發汗せしまま冷気を立（こうり）て嫁女のこめられ
なくまくておよるこひロを追く怪くるる半眠（ねむり）半坐（ひざち）
抵一先一房子入る軍部（ぶ）はみん乃紙足（ぞく）説母うつるを
たかつのなくト女をしてよ汗実せ有もくるるを静
新宮く到る紙全を扇
ることをよ紙全をとてをいはくる事高一やせくをあり
りのとこ入（アハメシ）連帰（ムカヘ）舎子ハ（ルニ）宮を上さ入る田ひくこ云兄上つと
よく常ニ近ひを喜の和さ参りをとうしふりQと舎二く
ちしうしの思ほとよ抱一まひそ小五も今教寸備乃
ばるのけ母よるこひを言依赤母女雨ひ行ひこれをひ小五帝ら
和さのけるせうるを続て形とくいとく舎二は近くすの
ちれよ蜂ひ中ちれよりやせ打ようこ舎二もちと書れ形りQ
なくさるを喜ひ赤母全二の振上りん物をひこや息（イキ）ひれと
てトせて度へ出る田ひくこも打こひく技帝同一く去小五

舎子ひのやこひ一年なこ世人は上このひこうばこてちこうに遇
赤ひ妹（イモ）Qを世へ一配せん乃めいぼくなんこととさくもちの
ひこかQや風ひ妹一抱ひこ一ひんん表和決（ホロフミヌサン）撒（ユイ）ちやく去く
羅んとを共夕辺田ひくこさいふせうこ乃病症ひこくゆん
とちこせばこを一母を寸とすを見ていひん物をこひ乃ことを答あ
ちこをくちふ一帰て妹を抱てあ一めん田ひいふを
をひふせん事いと安一ひこの多ゆ修んこいうにやせん小五ひ我
千思万思すひ共を他こ許一吾も亦婚寸聘すひゆとさ
んこ道を一田ひ道こ君ま一多ひこ寸ひ離ひを魂を
ひく従ひん何こめひにくを有てこくにみこんやこいひこ
ばいきを天こく欲くをこちにこちこ
をこちちくこうとちとうくとねをこうこ注ちくこうこと
北五ひもひ小こちえこを一拭ひてひ道なやむことふひ
再いこひめこ一さんやこうこ人こ留意一て帰る事いこり至

一日りうまきをるとて手くせ等くさ〳〵筆はせんうとて
もたりし一つく日数いくさ一冊あるかのあるかなく吾
女兒を形見とて冊すもしものつゝ度をそちく眠る日は三年
くらるに行灯あるかあまりかはとかさるとなるかもうと
まてゆりくと形しにくくはくをてにとく越ひ逆
おしくいあるかはーはるつるはさのあるきとかさ
うんとするに新人新さいまるつあと抱もあるーいうに冊花
よあるくるあーあ冊をとこ云しく正冊日うるまーかうん度くり
中千冊筆へくちあく声すか妙紙なるうりぐくと悪と田兒と
そうつ花下に新くちあ性まりげくと云んとるに舎二下痕修
くにはうくしかすくしふあくくしかひ又云ーさくく度
北門常とはるて入る二人冊さうりあるをくて目をーあるひ
あくーあるを泊をはるちりりるひ市なくーを図形やく又ゆくく二
人くりあ花相すあ市りるりあ紙ゆやと四れくおるるくしに二ばるく

紅梅よつゝ乃ちとく美しーけなるれくくりかひ冊きく世
詞あ花をくてはをはかまるあるまとこひき後ま多もるひ
たりくをるりをこ行へ乃一回と到る巻姫強の回すり眠く冊悪
ちぎり仲すく言て云駒姫有れまを必ふもいつりふと抱
田兒初いたくが冊乃道をの性ゆれふーあ愛をくこのあ
るてより言とをくさーふうく事ふくまに抱てなさ注
田ひくこをるくはは冊ちくさりをるんくせーをくるく却てく
ふくいるをあちう田兒くうるりかくいはくり果せ
ずりるくふぎ花ちくくありりかく藻里赤（うとあひ
小ひ乃にくの勇給りむくはひつくうるくにくんあー
仲院　あの古巻死ふんくいと安くむとうい実てくく
先れ日せくくりいあ煩ひあつを冊寡女よく知あひ姫
まにまりつくんりをあひ小列り新井れ日をあくんまといい
をこせーにく冊くくく日休撫あり花有市乃小ひをひつを

[illegible]
せこ[illegible]のものうるはまま婦(フウフ)と為情つくはてはいはとせと
小兒は九十九おくれ老を圖る今見者復しまの
うに年はわるはしを[illegible]里に帰り姐に換る
いうまえんとす小女ら二方にあ新ん乃廻形
小五郎は書とりめ(相割)ん耐えをお約くを
母まはれえつけるのかる止うにに偽りわん家母まて
いまはは怒りを乃なしー罵てもと言元醫の
さの式て男を女とし[illegible]ー家をすー(映)くく娘は害はら乃
死うこなりめに逢てうみとうりを田はこ小わうを
母は呵ーまんはるくうりむ家母姉をつは倒世や跌(ステ)
て如て有家母えうりを田姐きられて下女も共小五ゴリ
はー(ぬ)家母乃田姐をうりをゆをえうをあしいりあと
えく房中事せ母る彼今も亦一同に家母の田はうことせ

むるはれるは見る北五郎はこ乃ずくうるうと聞て胸さけ
数のごく原を始て主高形ー彼今うんうく公にう去
くく奔りるはいうくくくう害いくくんく小五わくくうく女は
師をおり一黒ー乃乃彼出ー男る彼露ーー房を出
て茅場乃門を回るひおるる奔る冊寡め兒子は同りにを
いうき来をえてえ殺るは又嬉ー彼今もまを同てちる乃
移は跡をきうく中原うる冊寡めおきてく權の計をに
てもう年ー とかく道(ナ)うむくは事彼す三朝ふは
帰りふい事なる新(ニ)きに去てうるずおは赤ある
うをを拔うくうはるは姐くきづ付をうをはでは
きくくこの取せん不首乃る何ふおと不用うは女母う
のは愧色はくく房形ー彼金言る兒帰あいんすと
あるくうまくと茅新母う節はは小女はみうは寡屋を人乃
張(ヲ)乃そうをうは房はは彼すりねてくうるえ彼今は時

[illegible]
奔りかくりまくるとは先一りの[illegible]
もうるを世ん物を毋寡小五[illegible]
[illegible]国[illegible]
より罵て道天乃狩の賊[illegible]
来て速[illegible]
んとよくく正く罵[illegible]
[illegible]
カおうばりはく極く撞[illegible]
[illegible]
てら賊かく辛めみせ
つしの奔くく小影兒ども
[illegible]
又[illegible]言ふしく酬[illegible]

詞をつくりて[illegible]
くくこへるこの奉の小女体情[illegible]
[illegible]と言を向し小五れ敵みるいしめ[illegible]
許一行いさんに[illegible]一死[illegible]
と位毋きんてにげ[illegible]
話といへるべしこのはこの[illegible]
今[illegible]と言を変せいい那[illegible]
なに故[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]ひ給てはけしの面体をそ[illegible]
変し給てめにうんいはるゝかゝるゝ世けり
なにをしてゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ世の乃給
うしろひ所うちにまゝ[illegible]彦はけ[illegible]病用と并一帰永す
房のかをを結ゝに房中帰哭すれとまゝくゝ[illegible]すの又老素
乃らゝしゝ心ゝくゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

ずてきの仕舞ニて委曲まで得て面白れめしなりと停止
して云さいの赤乃醜又はうく揚くうきよりたを見ハうつの
きめ第ハしむ東西おきすんでたちみ至まりてひ處地あ
らん扨又も初てはをつぐむ先田ちうことを厚さ免損も
てはをトめをうきつ世ちうみかうりなと禁止すれるも新
ふ紀ちと思そうく屠に向ひて哭ぐ別乃義しめ江間乃水
仲物ハはうと世そうに得しふうこみ都赤のの曲れ往年
家乃やうまうしうを殺に耳ハをまうく要聴ともうりハうう
新御のく世こ母うハ紀をうをを沙朝年赤乃了髪れ戸を
出ちを指くゆくまうQきて知ううに尋ちくどで女初ハ仏を
さううハ仲往二十條俳を最ハうくく道ちのうしまし
新んさい世ありをそうせうを徳つうんうハ世了髪ま
料をくてうろ動ちうゆうを多に付ち頭うう見まうく沙
往ううくを語うくを語に書てううし世醜本を藤里

に新ハうりをうをまめ一場を出ちのせうをしこて本住すめんを
くるうんうう伝いへ沙ハに吉物く帰せうんやとうと
はに歌うまうひあハてうく藤赤ちに一五一すを新ハ
新ち世尚ちを伝うく藤赤ちに一五一すを新ハ
婚を乃ハうとも形うて今ち年娶かる醜本をきてて、う
てんうう世一紙に年赤ちうけ水真ひことのび敷しを
変ハけ乃ちをそ婚伊ち本をに何ちをいい科ハ
とハ十ハうくうきりあハに向すうつのく宮下うう赤
仏ハてハ男を三れをせハむ早く婚ばんすうく世て出
うんれりとハ情ハ白ハうハ門ち飛を損すれ本と
ふハよをゆく験稀を本乃へ明又をうに、うんハ赤ちの
大儀をれぐうハしとせをはうに新ま彦面ハうい赤く
一般ハ白ハきれハ赤乃本伝早直ちちう魔ハ
新ちむも怪ハて白ハうひ陸て白何をかる本ハうん

詩を以て詞を行ひ長歌唇しひろめまこと[illegible]
もとゝぶらひ[illegible]七郎罵て道まとゝみちの巫八く酬まを
そうとして旅うちに曉そうに[illegible]あやまちて面おを掩ひくま
老ひとそぢかくさうを[illegible]をさきさうとして舞手の爾を以
ほくほくしつゝ人おせうとうめくはつゝしめ既まを上く
[illegible]きうを[illegible]彩を[illegible]七郎まろひくはくはくは二
老ゝうゝ[illegible]の家母舎ゝもこんとう視をまを式てうゝ
二老相ゝちやにをにすゝみく[illegible]嚴[illegible]を罵ていつこれ
[illegible]ゝ[illegible]官府ゝ[illegible]ゝ上府裏の心戮汗ゝまゝ路奉
[illegible]ゝはゝゝ之一路ゝ立〻舎二文ゝに向藤里七郎なゝ[illegible]
早相ゝ[illegible]ゝさゝゝまゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ舎二[illegible]
いくゝゝて曉ゝしゝゝやゝやゝの[illegible]ゝ[illegible]すてに
[illegible]るゝゝに[illegible]ゝ[illegible]ゝゝゝ

世話せい彦の女田ひろ興一家ろうじ生まれ十五
小光貴子はいと早く親をうしなひ弟妹をかかへ
ゆくゆくんこを思に女をいとをふし婚姻をゆう
さびしてゐすめとて縫こて金をもつて冊小五といへる
はくこと丹意義ざるの乃ひ紙屋をしうす分
をのうちはうしめ刻人厳乃彼下さまて亦帝を
えっかるも亦帝きてて下の新ひ意をもくひ殺ひ彼
となる者く小巻子後まこし名し特まを彦とめさてい
うにやと尋ものまこひて異くく小光一子一女有男
舎二に冊永ひ寡烟の乃すめ結夜めを約し書とせん
くに女田ひくこ急く尚乃七帝の兒子田ゆくを許し七帝
くゆくひくんきをやせ共女ハまくゆの多二ひい
兄の親をこうしてねし田五くをゆうる聞こはくを

舎二ひ病て類こ引こうこ結婚とおくをひしくきを
ひくねさせんひいくもつく田ひくこ試国丹年ひくゆこ
係ひこ彦しにひの小ひくいる世ねいんや冊寡ひさして
めるを藏しまひ北五帝在婚こ似世新ひしうあひしん
しまを彦くひ五こ田ひこを彦ひ柏しや物る守ます中をひりめ
て宣ふたとこ乃女に出いちを生ひめこと頼こ言ものと
ひくくしひひ姿をなすせ自ひてて形ることあくハ行
ふ見ひくあさこやます彦道婚事こかく新賃物ひんと想ひ
ようこ変又ひ五帝の妻ひこ彦ふとひハ共不可ひ生ひ支婦と
毛丹万新ものて彦ひ守ひ形ひ守乃ます冊寡ひ婚を
ものくひこ彦しよ名ものこを彦ひ今ひのこを彦ひ市名婦
女こひしひくゆしまゆくあんひ田ひ五ひいひの家
ひ年やまい彦中飯こ逃ひかくるまひくぎひいまひこと
冊寡女母子三人名を彦ひ又舎二田ひこ兄市共こ

に乗りて遊宴す。彼やがて百合と應ずるを、人数
探紙特撰小野の師等をそなへ、二人の美形面龐二分に
すぐれたるくさぐさ、みめ、うち合ひて都こまやかに人物
閑雅たりしこの艶さきやかに形容よろしく百合の容貌
ひとしきすがたにかくらくかの義貞年もたけくはなり
なるく男をおふごとく世を捨てあまたの人こそ
昭伊害すなや冊寡の軍事病なる世新乃吉朝
をもかろがろ変わんまはかの一生をこふ人を名
事を問せ如三世事を視んとすまた三月を先里に帰りしめ
てうるさくしたがうめ乃策をこうるにこたへうすし
むすめ彼羅さ多てか数有さ海ふり慣の物と訪
まれまの志ひこ伝はは色舎二の病おもくい祝之の
日伊、うろて期し冊家こうやられ醜事ふいよく

むすめ遊女連累
このもく夫に酒ひ時をかれ恨となるとりまれ多の伊多
一家乃ものと女ふ彼こをきくや又北五田伊ろのものふし
男をもく女れまの夫さ有ましまれと又宮女を好ス
ふんれ罪をこの得へりんれ五言上ひろしれ来るれをたうす
冊家冊ろれ姫をもて伴せ冊ろれ冊ふりしふ横の
れとこを云を紀すれひこなをこ伝の冊さ彼しふを横
うつく世のくを紀ろく多辞ざるくく録すれ世家冊を
さこのはげ守曰こと嬬を云さんに世事書屋今伊の
年いまろ世をたろうす世うく双乃又冊ろこをふす
たりて獺ゆるひれ五命さうろまを注て諌す字又
ふひこれ冊ふ横の事添かく外古列ろまくにる
及今や田五ろうを記ろ彼んれれ五に多とを世んれはりく
でいへ田伊なく道鄙女那ぶちふく野く食蜂色かく衢

世間さいはうへに又こゝろ母事んや浅やか五つ恩かりく世こゝ
無赤形しかるしかるしかるねならすい娘女こゝ死をあかるひ
こゝ世生こゝ笑此人に新せふくやとさゝてこひかけうと新く
こゝろ乃表情はこゝに行こゝるしまこゝるゆ家こゝ情こゝ惜こゝ
且行へこゝゆこゝゆこゝゆ五蔵里七所を呼て母母こゝ母少こゝ
ふしかゝ方へ帰す色紙小五所こゝ多こゝ先こゝ節すてに商仙
母こゝ世こゝへこゝろこゝ門こゝとゆこゝ世ふこゝろこゝいこゝと又こゝしこゝ世二
夫の屋こゝ茅こゝん加ふ安こゝとせこゝ小五こゝにゆこゝて妻こゝせい
世こゝつこゝりせこゝ聘色こゝろこゝさこゝちこゝん田五所こゝ小こゝ姉こゝ聘こゝ
ゆこゝうこゝん七所言上すこゝよこゝめ不義こゝとこゝゆ行こゝりてこゝうこゝりこゝさこゝか
こゝし既こゝきこゝん五こゝ糸婚縁こゝゆこゝ表こゝゆこゝゆこゝゆこゝきこゝ戸こゝりこゝさこゝゆこゝう
こゝて及こゝ同こゝ嫁こゝ姉こゝをこゝすこゝに似こゝうこゝんこゝさこゝい小巻こゝうこゝくこゝん
世こゝ井こゝん世こゝん今こゝゆこゝとこゝろ乃御こゝり紙こゝうこゝんこゝとこゝふこゝもこゝくこゝちこゝこゝびこゝなこゝにこゝと交
探こゝ頭こゝん君こゝうこゝりこゝこゝこゝ

ものゝ一半は間せんとたまはりしを聞つけたるなりと
んゑ何ぶんの田地はたくさんやまゝ高彩も亦言ふすれば五ゝくや妻有
すゝと高ゝ形しん探訪はしめて北五ゝ書にるまをきゝあ
ひく伊和五ゝよ女房ありくなく家女たるこゝあれしう
今ゝ乃女はゝつくにゝう重くきゝかゝ口を閉て言ふし探のゝく
又白くゝゝ女多何ものゝ家乃娘ゝゝ伊ゝ伊ゝ名ゝ人
うゝゝ世一書ゝ相床字はゝ伊ゝの女房めとゝゝ未ワう彩ハ
呼ゝ人ゝゝゝ人ゝ書ゝゝゝゝゝゝゝ藤一
ゝゝゝゝゝゝゝ

所ろく配さす事一七郎右衛門帰り田舎へ帰と聞て宮原へ到る
て待受すれば女をつれ原に鷹一羽探索者見のがし
女あるたとへ女黒量とつくり一對なるを所々にて糸を合
附てさかりて用意中さるまじく一月壹と出一分壹を金
金二分五朱田舎へ帰る上世間三月壹中れ物乃
呼くくれ味ゆうと正直に成まり初丹北五郎出くつかれ
ゆかしく一すれば其ほ猶しかう其一道巧て田五
郎様一ゆ苦しく道三ゆ舎二歳一ゆ一味水三集
而味あるとも書水すくにて苦しくにすくいい
立給ふて行しかるかき爲りうるわやの中うゆ
きやうるみ日ゆ郎乃和右ゆしとゆ田五ゆ苦しさ
しゆうにはきゆと乃ゆ見とゆ共とゆ書き
とゆゆ右ゆ所ふて新婦に為ふゆゆ和れゆ
ゆ爲ゆゆ五世孫となるゆ苦しゆ

和まあらんさい舎二ゆ配しゆすゆ一郎五世ふ
丈物いゆとゆひゆ醜ゆ住ゆゆ前ゆて枯狂め
もよゆす舎二まゆはゆ住誠ゆ自為の郷ゆ次郎
みふゆと婚姻い天ゆ人ゆよく私ゆるにゆゆゆ
負世入道ゆ後ゆりかゆ舎世佛ゆあゆゆまつ宇佛次ふ
ゆ生ゆゆまれゆ和五ゆゆ和ゆこゆ姫と私ゆめゆゆ
ふ料ゆゆ後ゆゆのゆゆ女すゆ名を田ゆゆ
めゆゆ次舎二ゆゆめゆゆ乃許ゆ三永他得一影ゆ
婚一儀ゆゆゆひふゆゆゆゆく記人出よゆ一違背ゆ
ゆふゆ曲ゆゆゆゆゆゆ宇佛次ゆ形ゆ冊寡女ゆゆゆゆ奉
ゆん者ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆ大ゆゆ後婚ゆゆゆゆ料ゆゆゆ
ゆとゆゆ姫ゆ代ゆゆゆゆ次ゆゆゆと嫌ゆゆ
ゆゆゆゆる一雄ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

近ようれさうにもゆる状態、ざれ玉をまく夜光の
配すせいにうるさる状をる冊氏いはるに因て女房を招寄
をんぐるして墻をこゆる事をせず冊家乃ふすめい兄ちめ
すつくる丈を得吉士状ゆすふかるを街さわるる
恍て婚ゆす夏、れ事ろ乃はのるとみ泊の玉田五郎
ゆしてを別に藩氏の婿ともてふ女ふ画を者字あ詩
を人乃妹を集へたくを方れ妹をうるかぬみる氏
ぬれうる英状息抽楽しているいくと楽するにたつの
ほ今三乃めうを水十水面ともふう拙かい蓬ともし
十ゆ十を一百くを仙しうん係しうを口を文ゆ千ふ水も
是かるるを愛をゆるくをにいるみ世ようち孫自ふ水くを
るなる数祝にあるを与ともて是ふ祝ふの宮房ふにいみ状架
ようめくるて巳を斷を任をんくを期を期ふ
俊考をふるを雪して九州乃系くをるるを記し山方千れ

人間を形ふし恍状ともて仏を井んはをんくつ状ていく
俊君れ明哉を称し奉りるるを言いはくを徒ふを保し
いを井ふ家乃さんを言状冊事京都ふ訪てもれ定とれ
すふつく道ふ人方伝状行ひを冊大きふを徒を御ふの
嘗ひくふく勝しくをて言ふし西ふ山地往冊ふ
藩家をゆし多鳴ふをとりくを利わんとをひしにのく
大きふ斯ふまよく善なるを二条一ぎんの桐ふとなる街
町れ義徒とふし酬をせを拉ふるれをえずやし一
をふ小ふ状ふいすを探紙舎二帥小ふ状取く秀ふとふ
えやこれ答せすめ将軍家の士と形ふる拉男みはふ勲
くを多ふ至を安ふ見ふくく所ゆをうを紀行ふ後く
侯後金二北五ふふし多京職を任しく行ふれ名ふう
舎ふいを二を流紫を帰り学徒れ職を家を奨を士を形修男ふ
家状つをくを及て冊家を拉り并世伝を藩氏を拉脚状ふ五

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明和四丁亥年秋

[illegible]

清十郎

[illegible]

[illegible]

古人きつの志の句多く拾ひて寫

待今宵十三夜ゆめの扇の形　守武

よあもすがらみそりに草や柳髪　貞徳

抱くねても肌いやるさ絵の梅　貞室

れとるるやる血れおかと後髪　西武

面白氏神ふるとあの化粧の形　望一

左義長こほろこほろ果や俳の袴　季吟

仁ヒかの世こ婦のほろほろ

涙ふるしとは多分の形ひと財面　宗因

玉律を律盃ふ面

青面みろとぶ星形ふ新足よ　素堂

象浮乃雲や面施の合歓木花　七世孫

紅梅ハ娘すぬる妻戸ゝうな　牧風

君足よやく乳ふ入る竹蓮の梅　嵐雪

ちくる婦せ其ハ初ハ一虎の空　其角

う紅人を文ゝど見人形ける　去来

早し世やくさきて続乃て如る　支考

うゝしめく取すつ飛る怪猫や　し由

乃し め絶乃人くゆく宵乃続の形　言水

つし芦乃けくせいゆ乃ゝ乃ゝ　百里

紫陽や髪も切〻すて出る住　湖十

小姫さもとの乃ゝ乃ゝ乃ゝ

梅立て杖つゝ出る鄙の角　氷花

曉て桜城名おゝ太乃佩こ　戈麿

元日や登やゝ乃ゝ行乃ゝ　佔徳

乃ゝの恋こ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　堤亭

名ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　青我

業乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　陡冊

ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　宗湍

六日乃日続久ゝ乃ゝ　不角

萩の戸に乃ゝ乃ゝ乃ゝ　蓼風

卵乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　その

[illegible]を女房と見て祭酒日　馬光

思人に[illegible]て紙を書く時面かゝ南　紀明

[illegible]いふ伊達いかゝ[illegible]柳亦　源光

秋の[illegible]第十九遊女の[illegible]　俊成

[illegible]はやうの[illegible]朝[illegible]　寥和

[illegible]らざ[illegible]物[illegible]の夕[illegible]　自来

[illegible]　牡丹　大梅

長夜[illegible]彼[illegible]を[illegible]せ[illegible]量[illegible]来[illegible]して[illegible]の[illegible]を
[illegible]す考[illegible]境せ[illegible]彼[illegible]さハ[illegible]
[illegible]平の[illegible]清[illegible]高[illegible]出[illegible]

[illegible]　牡丹さ[illegible]石[illegible]　黒露

[illegible]は酔て[illegible]　瑾

かつ[illegible]男[illegible]合せ後や[illegible]　柳石

世暑[illegible]　白雲

花街[illegible]　当時

[illegible]市や[illegible]　久住

出かゝりや[illegible]町口　卅枝

思人とす[illegible]　書姑

朝うかみ頃ねたるうしみち　伺仕
日の出や三日見物する人有　馬式
うつくしく離れて語る女の形　鞍九
足駄なる田をまはる走馬燈　〃
人待女軽くうつくしき笑ふ孫　来〃
ひとりくく蚊柱すこの角　斗久
美姫人をまつ盛り野ゆき　簋朱
ゆくさやかい姫一筋のこる　祇完

浮世小説の物語まことに出来る　魚槃
内深根の白ひかりや梅のもと　万翠
頭巾を被り中度せかきつくる　新太
ゆくるかもしれぬ物ひと　鈴戸
もうる面ばかりまるまる深のを　雨月
彩町ちらほらもち翁一く極毛　麦由
見初いくらか遠近射る　二橋
夜絵夜ばかりうつくしの　市川　四南

みやこの秋とよばるる景色高雲　蕉雨
市川
きく根乃れて物影いなうり乃　泉布
別源寺
扇きく仙人妻とうくさうり乃　莫我
恵源寺
恵源寺　千極
紅梅や姫新る峯　五橋
中へど来ぬ奈良は物ふる芳　乙麿
るる来る蝦夷も有苔堅り羽　子梁

かうもりしつ示さためぶうれゆく
かうもり居茅屋
けんせつ油乃かく新竹籠　周如
けうぶんハ壮冊ろうる原也ぬや　正高
曙も京より富士ぬます　梅英
蔵白の宮雲雀乃鳥ひ　興平
正塚乃宿もゆり、男あさみ　紫江
咽ぶ世ことは紀る姿ろ一夫婦　阜市
うのぶろぬを市はつ、流广偈　尾跡

[illegible]る遊女[illegible]の行（代りする石和）　柳慶

如儀得飛とする事

[illegible]僧侶の世[illegible]二挺立　二橋

小[illegible]　[illegible]人[illegible]二心　絡戸

今ハ君待[illegible]　[illegible]　作者不知

[illegible]　[illegible]や蜂のこゑ　買妙

[illegible]山[illegible]

星[illegible]

[illegible]

大[illegible]

[illegible]方や国の[illegible]　横川

[illegible]や普請する家乃書　亀成

遊女小[illegible]敬る初あり田植行　（廣脇）　鰍鯉

[illegible]の油[illegible]　[illegible]やとの葉搦　魚明

[illegible]の[illegible]　（廣脇）　亀山

幅幅[illegible]　[illegible]

[illegible]　（小石和）　素淫

[illegible]　[illegible]人[illegible]　[illegible]　欺雪

[illegible]や星乃物[illegible]　正面

東鑑五十帥の霊魂を吾と有

青柳や樹の下もとは自もみな　江戸　三冬

武のしら乃出世もかな　石菜所　馬角

芝浦の松の絵を　坂　後岡　三遊

江さ[illegible]を新しく[illegible]乃利[illegible]　日　撞山

坂すりとかの門の[illegible]生海風の形　黒露

八月吉

資亮　梅英

彫工　江戸　石井谷衛門